

減CO2クラブ



チャレンジ！エコドライブ！！（筑後市開催支援）

CONTENTS

- 特集 1 : 我が国の新たな温室効果ガス排出量削減目標について
- 特集 2 : 今後 10 年における我が国の気候変動影響への適応の取り組みについて
- レポート 1 : エコアクション21 認証・登録制度 10 周年記念式典の開催
- レポート 2 : 九州 GPN 活動紹介 [九州が変わる、グリーン購入で変わる]
- 事業報告 : チャレンジ！エコドライブ！！（環境省コンソーシアム事業）
- 活動報告 : 新しい地球温暖化防止活動推進員がみなさまの地元で活動中！
- D A T A : エコトンの福岡県減 CO2 度（げんこつど）チェック！
- お知らせ 1 : エコファミリー、エコ事業所優秀者表彰！
- お知らせ 2 : ふくおか省エネ・節電県民運動！



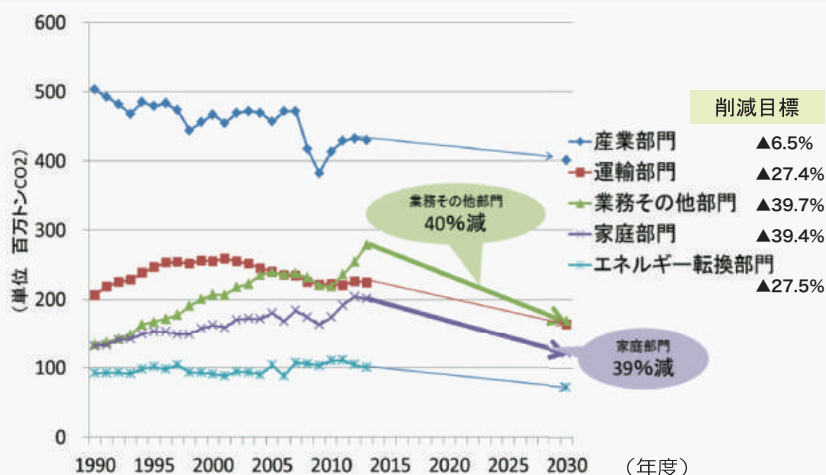
我が国の新たな温室効果ガス排出量削減目標について

環境省 九州地方環境事務所 環境対策課

本年 7 月に、政府の地球温暖化対策推進本部は、温室効果ガスの排出量を 2030 年度に 2013 年度比 26%削減（2005 年度比 25.4%削減）させるという目標を含む、2020 年以降の新たな温室効果ガス排出削減目標、いわゆる「約束草案」を決定しました。この中で、温室効果ガスの約 9 割を占めるエネルギー起源二酸化炭素（以下「CO₂」という。）については、2030 年度に 2013 年度と比べて約 25%削減するとされています。

中でも、家庭部門と業務その他部門（合わせて「民生部門」）から排出される CO₂ は、2005 年度以降も増加傾向にあるため、右図のとおり、私たちの暮らしに関係する家庭部門と業務その他部門（商業・サービス・事業所等）から排出される CO₂ についてはそれぞれ約 40%の削減目標を掲げています。

この温室効果ガス削減目標の達成のため、次表の対策や施策を今後実施し、徹底した省エネルギー対策をとる必要があります。



■部門別のエネルギー起源 CO₂ 削減目標

■温室効果ガス削減目標積み上げの基礎となった対策・施策（家庭部門、業務その他部門抜粋）

部門	2030 年度の排出量の目安 (百万 t-CO ₂)	対策・施策
家庭部門	122	<ul style="list-style-type: none"> ・新築住宅における省エネ基準適合の推進 ・既築住宅の断熱改修の推進 ・高効率給湯器の導入（CO₂ 冷媒 HP 給湯器、潜熱回収型給湯器、燃料電池、太陽熱温水器） ・高効率照明の導入 ・トップランナー制度等による機器の省エネ性能向上 ・HEMS(home energy management system)・スマートメーターを利用した家庭部門における徹底的なエネルギー管理の実施 ・国民運動の推進（クールビズ・ウォームビズの実施徹底の促進、機器の買換え促進、家庭エコ診断） ・浄化槽の省エネルギー化 ・温暖化対策ロードマップ等による各省連携施策の計画的な推進
業務その他部門	168	<ul style="list-style-type: none"> ・新築建築物における省エネ基準適合の推進 ・建築物の省エネ化（改修） ・業務用給湯器の導入（潜熱回収型給湯器、業務用ヒートポンプ給湯器、高効率ボイラ） ・高効率照明の導入 ・冷媒管理技術の導入（フロン） ・トップランナー制度等による機器の省エネ性能向上 ・BEMS(building energy management system) の活用、省エネ診断等による業務部門の徹底的なエネルギー管理の実施 ・照明の効率的な利用 ・国民運動の推進（クールビズ・ウォームビズの実施徹底、自治体庁舎改修）

また政府は、温室効果ガス排出量の削減目標の達成のために、「COOL CHOICE」を旗印に国民運動を展開しています。

この「COOL CHOICE」は日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動などについて、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。例えば、製品の選択では、省エネ性能の高い家電にする、LED 照明に替えるというものがあります。サービスの選択では、自家用車通勤を止め公共交通機関を利用する、過剰な包装を断り簡易な包装にするというものがあります。また、行動の選択では、クールビズ・ウォームビズ、クールシェアやウォームシェアという省エネなライフスタイル・ビジネススタイルの実践などがあります。

これらは小さな日常の選択かもしれませんが、省エネや低炭素という目線での「選択」を積み上げていけば CO₂ を削減する大きな力になります。家庭や職場で是非、できることから賢い選択「COOL CHOICE」をしていきましょう。



今後 10 年における我が国の気候変動影響への適応の取り組みについて

国立研究開発法人 国立環境研究所 社会環境システム研究センター
環境都市システム研究室室長 脇岡 靖明



2014 年の世界の年平均気温は、1891 年以降では最も高い値となり、2015 年もその記録を更新する勢いです。世界の年平均気温は、長期的に約 $0.70^{\circ}\text{C}/100$ 年の割合で上昇しており、特に 1990 年代半ば以降は高温の年が多くなっていると報告されています。2014 年 3 月に公表された気候変動に関する政府間パネル（IPCC：Intergovernmental Panel on Climate Change）第二作業部会（WGII）の第五次評価報告書では、ここ数十年の間に、すべての大陸と海洋において気候変動が自然や人間社会に影響を及ぼしていると報告しています。それに伴い、温室効果ガスを削減する「緩和」のみならず気候変動による影響に対処する「適応」の重要性が認識されつつあります。この「適応」は、気候変動による悪影響を軽減するのみならず、気候変動による影響を有効に活用することも含まれています。

2007 年に IPCC WGII 第四次評価報告書が公表された後、様々な国際機関や科学報告書、報道などが一体となった取り組みによって、先進国および開発途上国において気候変動への適応の重要性について認知度が向上してきています。現在、気候変動への適応は、国家から自治体まで様々なレベルにおいて、社会における認知と普及の段階から、計画・戦略・法規制およびプロジェクトの構築と実施段階へと移行しつつあります。日本においても、適応について総合的かつ計画的に取組を進めるため、関係府省庁が連携し、政府の「気候変動の影響への適応計画」の策定に向けた検討が行われてきており、平成 27 年 11 月 27 日に閣議決定されました。これにより、自治体における適応の検討が促進されていくことが期待されています。

適応計画の策定にあたっては、将来の気候変動とその影響が有する不確実性の下で意思決定をする必要があるため、①反復性の評価、②柔軟性・順応性のある計画、③適応能力の強化が主要な柱となります。適応に関連する課題は多岐に渡りますが、中長期をターゲットとした適応計画と既に生じており取り組みつつある課題と比較すると、対象とする時期が異なるため、適応を優先的に検討・計画・実施することは非常に難しく、不確実性を伴う将来の多様な課題について、それらの優先順位を決定するのは容易ではないと考えられます。そこで、今後 10 年間に於いて、我が国では気候変動影響への適応計画に対してどのように取り組んでいくべきかについて、以下に私見を述べます。

①国による自治体支援

国は自治体における適応行動を調整する役割を担っています。具体的には、将来の気候変動下における地域の脆弱性と潜在的な影響に関連する情報と政策枠組みの提供、法的枠組みの創設、脆弱性の高いコミュニティの保護、自治体への財政支援などの役割を担っていくことが求められます。

②自治体の自立に向けた取り組み

国による支援だけでは自治体が独自の適応計画を立案して実施するのは容易ではありません。なぜなら、地方における気候変動の影響は多様でかつ独自の傾向を有するため、状況に応じた包括的な取り組みが必要となるからです。また、計画から実施への転換については、多くの利害関係者が資源、制度、能力面の課題を克服しなければならず、実施には多大なる困難が伴います。そこで、自治体は地域の伝統的な知識を活用することに焦点を当てた戦略を目指し、適応計画の戦略を自治体の開発ニーズと計画に関連づけることで、「後悔の少ない戦略」を活用することが望まれます。「後悔の少ない戦略」とは、現在の気候条件下でも、将来の気候変動シナリオ幅の下においても、正味の社会的・経済的便益が得られる戦略をいいます。このとき、多くの既存施策がすでに適応策として有効であることを認識し、さらに強化することが肝要です。

我が国における適応への取り組みは緒に著いたばかりです。しかしながら、将来の不確実性を含む気候変動という大きな課題に対して、適応の主役となる自治体を中心として、産学官民が一体となって取り組むことで、10 年後には様々な適応策のリストとその実行準備が整い、安心・安全な社会の構築に向けて更なる一歩が踏み出されていることを切に願っています。



レポート1

エコアクション21 認証・登録制度10周年記念式典の開催

ECO-KEEA 九環協 地域事務局長 永津 龍一

エコアクション21 認証・登録制度が創設されてから10周年の節目を迎えたことを記念し、去る11月16日、福岡市の地域交流センターであるコミセン和白の大ホールにおいて、エコアクション21中央事務局と九州・沖縄の地域事務局の主催により記念式典が開催されました。

エコアクション21は、環境対策を適切に講じつつ企業の健全な発展を推進するための環境マネジメントシステムであり、その認証・登録制度は、環境省によって平成16年に創設されました。地球温暖化をはじめ環境問題がますます深刻化する中、主に中小企業における環境対策を効果的かつ持続的に進めていくうえで極めて有効な手法として、近年益々注目を集めています。

記念式典では、制度の発展に大きく貢献された事業者や自治体の皆さんをお招きし、感謝状の贈呈や専門家による講演、事例発表などが行われました。また、来賓として鬼木環境大臣政務官が出席され、受賞者の皆さんと記念写真を撮影するなど大いに盛り上がりました。参加者一同、次の10年に向け、エコアクション21を更に発展させていくことを宣言して閉会となりました。



■受賞者の表彰風景



■受賞者と鬼木環境大臣政務官との記念写真



レポート2

九州 GPN 活動紹介 [九州が変わる、グリーン購入で変わる]

九州グリーン購入ネットワーク 代表 北九州大学大学院教授 二渡 了

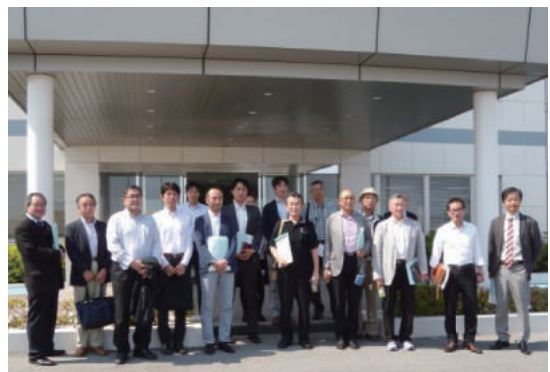
九州グリーン購入ネットワーク（九州 GPN）は、グリーン購入に率先して取り組む企業、行政機関、民間団体等の緩やかなネットワークと情報発信を行う組織として2007年2月に設立された、全国に9つある地域ネットワークの一つです。

現在の会員数は、行政18団体、民間団体17団体、企業93団体の合計128団体（2015年10月現在）です。

九州 GPN では、地域に密着した活動として、グリーン購入セミナーの開催や九州各地の環境イベントへの出展、環境先進企業見学会の開催を行っています。

九州地域は農林水産物の生産基地になっており、それらの廃棄物等の地域循環資源の再使用・再生利用が行われています。また、太陽光発電や風力・地熱発電などの再生可能エネルギーの普及が進み、エネルギーの地産地消が行われています。グリーン購入の取り組みもこうした活動と共通します。

グリーン購入を進めることが地球温暖化の防止につながります。



■環境先進企業見学会（エコポート九州）



グリーン購入のための
GPNデータベース **GPN** Green Purchasing Network
<http://www.gpn.jp/econet/>



事業報告

チャレンジ！エコドライブ！！

環境省コンソーシアム事業（ふくおかエコドライブコンソーシアム）

県センターでは環境省補助事業として、県内自治体やエコドライブ指導員（推進員等）と連携・協力し、実車を使ったエコドライブ教習会や講習会の開催支援事業を実施しています。

平成 27 年度は 5 つの自治体で「チャレンジ！エコドライブ！！」の教習会を開催しました。受講者は合計で 79 人、うち地域のエコドライブ指導員を養成するオプション研修には 35 人が参加されました。

■2015 年度エコドライブコンソーシアム事業（エコドライブ教習会）の実施結果一覧

	古賀市	筑後市	新宮町	小郡市	大刀洗町	合計
開催日	H27.10.17	H27.10.31	H27.11.9	H27.11.17	H27.11.18	—
開催場所	古賀市役所	筑後市中央公民館	シーオーレ新宮	総合保健福祉センター	大刀洗町役場	—
受講者（指導員研修者）	24(18)	19(11)	12(4)	16(2)	8(0)	79 (35)



エコドライブ教習会の流れ

1

普段通りの運転で燃費計測



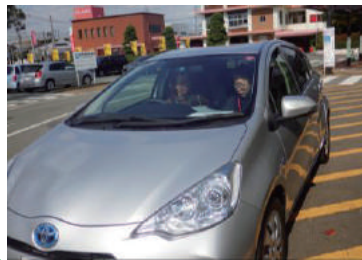
2

エコドライブ講習の受講



3

エコドライブに挑戦！燃費計測



エコドライブの効果

エコドライブは、①地球温暖化防止（CO₂削減）、②給油費削減（燃費向上）、③事故の発生防止（安全運転）という3つの目的・効果があります。

今回のエコドライブによる燃費改善効果は12.2%～34.5%で、平均24.7%でした。これを全県で実施した場合のCO₂削減量に換算すると約119万 t-CO₂と推計され、県内の家庭からの総排出量（約1,354万 t-CO₂）の8.7%を占めます。このようにエコドライブのCO₂削減効果は高いことが分かります。

県センターではエコドライブを家庭や事業所の重要な温暖化対策と考え、今後もエコドライブの取り組みを支援します。

エコドライブの3つの目的・効果



是非、挑戦して下さい。



■エコドライブ教習による燃費改善効果





活動報告

新しい地球温暖化防止活動推進員がみなさまの地元で活動中！

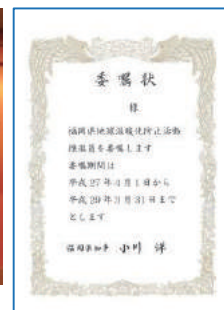
福岡県では、現在 100 名の地球温暖化防止活動推進員を委嘱し、みなさまの地元で家庭や事業所の温暖化対策が進むよう諸活動を実施しています。

推進員委嘱状交付式（平成 27 年 5 月 13 日）

福岡県では、地球温暖化対策の推進に対する熱意と見識を持ち、各市町村長からの推薦を受けた方々に「地球温暖化防止活動推進員」を委嘱しています。去る5月13日に、今期（平成27年4月1日～平成29年3月31日）の推進員への委嘱状交付式が開催されました。現在、100名の推進員が、県内各地で環境学習会の開催、児童・生徒への環境教育、イベントでのブース出展、うちエコ診断の実施などを行っています。地域住民の身近なリーダーとして、地球温暖化対策の普及啓発活動に尽力いただいています。



■推進員委嘱状交付式



地域	No.	市町村	氏名	地域	No.	市町村	氏名	地域	No.	市町村	氏名
福岡・筑紫地域	1	福岡市	生田 哲朗	北九州市・京築地域	1	北九州市	川島 伸治	筑豊地域	17	糸田町	御手洗 辰雄
	2	福岡市	大石 綾子		2	北九州市	秋枝 博子		18	川崎町	島田 由美子
	3	福岡市	大中 幸子		3	北九州市	石角 聡		19	大任町	鍋田 祐貴
	4	福岡市	金色 慎太郎		4	北九州市	小川 育子		20	赤村	中村 浩昭
	5	福岡市	小出 まする		5	北九州市	熊井 一博		21	福智町	松山 範昭
	6	福岡市	鈴木 國夫		6	北九州市	角谷 忠彦		22	福智町	平野 アキ子
	7	福岡市	平 由以子		7	北九州市	田鍋 晴久		23	福智町	山尾 勝子
	8	福岡市	高森 敏博		8	北九州市	久永 恵美子	久留米・北筑後地域	1	久留米市	山村 公人
	9	福岡市	原 成公		9	北九州市	中馬 慶太		2	久留米市	別府 正俊
	10	福岡市	平嶋 陽真		10	北九州市	後藤 加奈子		3	久留米市	高橋 和子
	11	福岡市	真島 泰子		11	北九州市	原賀 いずみ		4	久留米市	古賀 剛
	12	筑紫野市	坂井 友美		12	行橋市	田中 千鶴		5	小郡市	木下 綾子
	13	春日市	加賀山 数義		13	豊前市	長井 賢治		6	うきは市	小田 好一
	14	春日市	山田 恵美		14	苅田町	松岡 麻利子		7	朝倉市	高倉 保之
	15	大野城市	原田 亮平		15	みやこ町	梅林 保夫		8	朝倉市	竹井 勝美
	16	太宰府市	神酒 雅也		16	吉富町	奥家 照彦		9	筑前町	幾竹 曠美
	17	糸島市	宮澤 篤		17	上毛町	島田 安嗣		10	東峰村	岩下 玲礼
	18	糸島市	宮武 久幸		18	築上町	出口 貞味		11	大刀洗町	宮崎 誠
	19	糸島市	坂本 朱美		19	築上町	井上 孝之助	大牟田・南筑後地域	1	大牟田市	荒木 陽子
	20	那珂川町	伊藤 智子	筑豊地域	1	直方市	仲野 さゆり		2	柳川市	古森 秀樹
宗像・遠賀地域	1	中間市	佐藤 正純		2	飯塚市	袖崎 隆子		3	八女市	鶴 伸幸
	2	宗像市	今西 良一		3	飯塚市	西谷 とも子		4	八女市	東島 達也
	3	古賀市	吉見 一郎		4	飯塚市	松尾 豊		5	八女市	伊東 祐弥
	4	福津市	丸尾 哲郎		5	飯塚市	後藤 ようこ		6	筑後市	矢加部 茂晴
	5	宇美町	竹吉 栄隆		6	飯塚市	中村 真弓		7	大川市	石橋 貞子
	6	篠栗町	田中 美保		7	田川市	星野 フチ子		8	みやま市	小宮 修二
	7	志免町	案浦 洋		8	宮若市	綱分 睦子		9	みやま市	森 壽泰
	8	須恵町	印藤 康修		9	宮若市	坂山 憲治		10	みやま市	森實 正信
	9	新宮町	梅崎 由美子		10	嘉麻市	小山田 弘志		11	大木町	益田 隆一
	10	久山町	久芳 一代		11	嘉麻市	鈴木 淑文		12	広川町	富久 公博
	11	粕屋町	小野 友紀		12	嘉麻市	手島 省治	地域の環境マイスター※			佐藤 直美
	12	芦屋町	芹田 初江		13	小竹町	高木 厚				越智 信雄
	13	水巻町	野坂 輝和		14	鞍手町	宮崎 敦史				依田 浩敏
	14	岡垣町	占部 美保		15	桂川町	原中 賢				宮寺 健
	15	遠賀町	古賀 秀章		16	香春町	鬼塚 やよい				荒木 フサエ

※地域の環境マイスター：県センターでは、地球温暖化問題をはじめ広く環境に関する専門的知識や豊富な実務経験、見識等を有する方々を「環境マイスター」として人材登録し、地域の学習会等の講師として派遣しています。県センターではその方々のうち特に地域の推進員活動を直接的・間接的にサポートできる方を「地域の環境マイスター」としています。



こんな時は、地元の推進員にご相談下さい！

- 地球温暖化について情報が知りたい
- 学習会を開きたい
- 具体的な対策活動を行いたい
- 環境家計簿の使い方を知りたい
- エコファミリーに登録したい etc.

今回は、県内 6 地域の推進員リーダーから地域活動の現状を報告いただきました。

北九州・京築地域

当地域連絡会は北九州市、行橋市、豊前市、京都郡、築上郡の市町で構成しており、地域イベントへの出展、学校への出前講座などの活動をしています。持続可能な社会の構築に向けたCO₂削減への取組みは、次世代に地球環境を引き継ぐために我々が成すべき大きな課題です。その一助を担うべく地道ながらも活動を継続していきます。



エコライフステージ（北九州市）



川島 伸治リダー

福岡・筑紫地域

私たちは福岡市・糸島市・筑紫地区（那珂川町・筑紫野市・太宰府市・春日市）のグループです。各地域で行われる催し物を企画実行することで、温暖化防止に対する興味を持ってもらい行動につなげてもらえるように努力しています。地域連絡会でも和気あいあいと活動報告や興味を持った事などを話し合ったりしています。これからもう一人でも多くの人に伝えられるようにがんばります。



手をつなぐ市民のつどい（糸島市）



山田 恵美リダー

宗像・遠賀地域

当地では15名の推進員がいます。ほとんどの方が自身の地域で行われる祭り・行事に出展し、地球温暖化防止を提案されています。行政と一緒に参加する事を勧めています。経験のない推進員へは他の推進員がお手伝いし運営をアドバイスしています。エコトンの減CO₂大作戦パネルを使ったクイズが人気です。パネルの前で親が小さな子に一生懸命教えています。ああ出展して良かったと思います。



おながこどもまつり（遠賀町）



丸尾 哲郎リダー

久留米・北筑後地域

くも環境フェアをはじめ、各地域で開催されるイベントで子供向け地球温暖化クイズを実施しています。推進連絡会を2回実施（全3回）し、各地イベントへの推進員同士の協力やノウハウの共有の為会議を行いました。会議では、幼児向け環境教育の講師育成講習会なども行いました。イベント以外の活動の活性化を期待しています。



うきは祭り2015（うきは市）



山村 公人リダー

筑豊地域

筑豊地域では嘉飯山地区、直鞍地区、田川地区に分かれ推進員が活動しています。8月7日に桂川町立土師保育所において参加者70名ほどで打ち水を行いました。温度の変化は2度ほどでしたが、エコトンの紙芝居や地球温暖化のお話などエコトンとのふれあいを通じて、園児たちが温暖化防止について考えるきっかけづくりが出来たのではないかと感じました。



土師保育所での打ち水（桂川町）



原中 賢リダー

大牟田・南筑後地域

南筑後地区は平坦な地域が多く、温暖な気候です。年3回の連絡会には行政を含むほぼ全員が出席し、年間計画等相互情報交換をし、各地域でのイベント等を協力しながらやっています。今後はスキルアップに努め、地球温暖化の情報、対応策等研修を通じ習得した情報を広めようと、現在18名の推進員が活動しています。



大川環境王2015（大川市）



石橋 貞子リダー

■推進員の方へのご連絡は、市町村の環境担当部署、福岡県地球温暖化防止活動推進センターへお問い合わせください。

エコトンの福岡県減CO2度チェック！



福岡県内の家庭や事業所の地球温暖化対策は、ゆっくりですが着実に前進していることが分かります。

減 CO2 度指標項目	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H26/H23 比
エコファミリー登録者数（世帯）	14,324	15,191	15,806	16,215	1.13
省エネ・節電県民運動宣言者数（人）	51,268	77,505	78,782	163,727	3.19
エコ事業所登録数（事業所）	1,793	1,985	2,866	3,141	1.75
EA21 認証・登録事業者数（事業所）	353	413	469	484	1.37

お知らせ 1

エコファミリー、エコ事業所優秀賞表彰！



福岡県では、環境に配慮した生活や事業活動に取り組む「エコファミリー」と「エコ事業所」を募集しています。

この度、平成 26 年度の実績結果を基に審査が行われ、他の模範となる取組がなされた世帯・グループ及び事業所が優秀賞に選定されました。

各受賞者には、平成 27 年 11 月 26 日に表彰状と副賞が授与されました。



■エコファミリー、エコ事業所優秀賞受賞者一同

エコファミリー受賞者 ※敬称略

(1) 世帯部門

●第3ステージで世帯人員・住居形態ごとに、二酸化炭素排出量が最も少ない世帯

- 1人 : (戸建) 該当なし (集合) 松原 京子
- 2人 : (戸建) 平尾 睦美 (集合) 中嶋 久美子
- 3人 : (戸建) 岩下 フチ子 (集合) 山崎 加代子
- 4人 : (戸建) 西宮 ときえ (集合) 北岡 和子
- 5人以上 (戸建) 中道 加代子 (集合) 該当なし

(2) ステージ部門

●各ステージで電気使用量に係る二酸化炭素排出削減率が最も大きい世帯

- 第1ステージ：三苫 久宣 第1ステージ：電気
- 第2ステージ：平田 静子 第2ステージ：上記+ガス、水道
- 第3ステージ：伊藤 徹也 第3ステージ：上記+ガソリン、軽油、灯油、可燃ゴミ

(3) グループ部門

●グループで取り組む団体のうち、取組結果の報告世帯数が多いグループ
葉山ヘルスケア・省エネ共和国、八女市役所
生長の家福岡県教化部、エコクラブ家計簿サークル

エコ事業所受賞者

(1) 電気使用量の削減に向けた取組部門

- 最優秀賞 : グリーンライフ産業株式会社 (福岡市)
- 優秀賞 : 株式会社西日本電業社 (福岡市)
- 優秀賞 : 株式会社ビッグ・ワン (福岡市)

(2) 自動車燃料使用量の削減に向けた取組部門

- 最優秀賞 : マリノアシティ福岡 (福岡市)
- 優秀賞 : 株式会社久野工業 (福岡市)

(3) その他の地球にやさしい活動部門

- 最優秀賞 : 森村商事株式会社 九州営業所 (北九州市)
- 優秀賞 : 株式会社志道工務店 (北九州市)
- 優秀賞 : 楽しい株式会社 (北九州市)
- 優秀賞 : 西日本鉄道株式会社 SC事業部
久留米名店街運営室 (久留米市)

お知らせ 2

ふくおか省エネ・節電県民運動！

(下半期の取組報告と、冬季電気使用量の報告をお願いします。)



「省エネ・節電」に取り組むエコファミリーに登録して「エコファミリー応援パスポート」をゲットしよう。協賛店でパスポートを提示することで、様々な特典を受けることができます。

現在、下半期(平成27年10月～平成28年3月)の取組結果を報告いただくと、抽選で協賛店での買い物に使用できるエコチケット(金券)を進呈します。(報告締切：平成28年5月末日)

また、冬季電気使用量(平成27年12月～平成28年2月)を報告いただくと、抽選で九州エコライフポイントや協賛企業賞を進呈します。(報告締切：平成28年3月10日)

参加方法など詳しくは、下記問い合わせ先またはふくおかエコライフ応援サイトをご覧ください。

【問い合わせ】 県環境保全課 ☎ 092-643-3356

ふくおかエコライフ応援サイト

検索

■エコファミリー応援パスポート

